

徳島県 公立高校の入試制度

【2022年度版】

選抜概要

- 徳島県の公立高校入試は、主に特色選抜と一般選抜の2回あります。

	出願期間	志願変更	入試日	合格発表日
特色選抜	1/24(月)・25(火)	-	2/1(火)	2/5(土)
一般選抜	2/21(月)・22(火)	3/1(火)~3(木)	3/8(火)・9(水)	3/16(水)

- 出願は、原則1校に限ります。本校と分校の併願は出来ません。
特色・一般ともに、志願先に当該選抜を実施する小学科・類が2以上ある場合は、学科を志望順に記して出願することが可能です。ただし、一部例外もありますので事前に確認しておきましょう。
- 普通科の通学区は、原則として第1学区~第3学区に分かれています。通学区外でも出願・受検は可能ですが、合格者が少数に限られていますので事前に確認しておきましょう。
なお、城東・富岡東・川島の3校は全県募集のため、学区はありません。

特色選抜

- スクール・ポリシーを踏まえ、学校ごとの出願要件（スポーツ・文化活動・その他学校の定める特色ある活動等）を満たしている者が対象の選抜です。
ただし、体育科及び芸術科は、出願要件を別に示すことが可能です。
- 募集人員は下記の範囲内で各学校により決定されます。
 - ①普通科…入学定員の6%以内
 - ②専門学科（体育科及び芸術科を除く）、総合学科…入学定員の13%以内
上記①②の募集人員計が8人未満になる学校は8人以内とするが、県外からの合格者数を「人数制限なし」としている学校は12人以内とする。
 - ③体育科及び芸術科…100%

●選抜資料

学力検査	検査Ⅰ…国語・社会・英語，検査Ⅱ…数学・理科・英語 (Ⅰ・Ⅱ各45分，国社数理各40点，英Ⅰ・Ⅱ各20点)
学校採択検査	各学校の判断により，以下の検査を必要に応じて実施可能。 ◆作文 ◆個人面接又は集団面接 ◆実技等（部活動などに関わる分野について，実技や意見発表を行う。）
調査書	各教科学習の記録（評定）は，学力検査を実施しない音楽，美術，保健体育，技術・家庭の4教科を重視。また，各教科学習の記録以外の記載についても，選抜の資料として活用する。
活動記録	体育科及び芸術科を志願する際，部活動の活動状況・活動実績等を示す資料

- 上記の資料を用いて，総合的に判断し合格内定者を決定します。

一般選抜①

- 実施は全ての学校で行われます。（城ノ内高校を除く）
出願は1回に限り変更することが出来ます。ただし、第1志望の志望学科の変更を行わない場合、その他の志望学科及び志望学科順位の変更は出来ません。
- 募集人員は、募集定員から特色選抜及び連携型選抜の合格者を減じた人数です。
- 選抜資料

学力検査	国語・社会・数学・理科・英語（各100点） （試験時間は国語55分，英語50分，それ以外は45分）
面接	志願者全員実施
学校採択検査	学校・学科の特性により，実技（面接実施日に行う）も実施可能。 ※2022年度実施校…鳴門渦潮（スポーツ科学科），名西（芸術科） 体育科及び芸術科を第2志望とする場合も実技検査は必須。
調査書	各教科学習の記録（評定）は，1～3年の評定（学力検査を実施しない4教科を2倍）＝195点満点とする。また，評定以外の記載についても，選抜の資料として活用する。
活動記録	体育科及び芸術科を志願する場合，部活動の活動状況・活動実績等を示す資料

一般選抜②

- 選抜方法
上記の資料に基づいて，学校・学科の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して，以下の点に留意し，選抜します。
 - ・選抜に当たっては調査書と学力検査を同等に扱う。
 - ・体育科を志望した者の選考…調査書の保健体育の成績及び活動記録の内容を重視。
 - ・芸術科の音楽，美術を志望した者の選考…それぞれ調査書の音楽，美術の成績及び活動記録の内容を重視。
 - ・芸術科の書道を志望した者の選考…活動記録の内容を重視。
 - ・実技検査を行う場合…その成績を重視。

【第一次選考】

- ①調査書の「各教科の学習の記録」の評定が，上位から募集人員の80%以内にいる者
 - ②学力検査の得点が上位から募集人員の80%以内にいる者
- ①②を両方満たす者について，面接などの結果も加味し，総合的に選考します。

【第二次選考】

第一次選考の対象者以外の者全員について，「各教科の学習の記録」の評定と学力検査の得点を同等にみて（あらかじめ作成した学力検査・評定に関する相関表を用い），面接などの結果も加味し，総合的に選考します。

- ・選抜にあたっては第1志望を優先し，その中から決定します。合格者が定員に満たない場合は，第1志望以外の志願者から合格者を決定します。